

# 平成27年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：生産振興課

担当名：主穀担当

内線：4144

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B7	県産米「特A」プロジェクト推進事業			一般会計	農林水産業費	農業費	園芸農産振興費	米麦産地育成対策費	
事業期間	平成27年度～平成32年度	根拠法令	なし				戦略項目	08 埼玉農業の競争力強化	
							分野施策	030201 収益力ある農業の確立	
<p>1 事業の概要</p> <p>本県産米が米価下落圧力や産地間競争に打ち勝てるよう、新品種「彩のきずな」が客観的な食味評価である「特A」を継続して獲得するための取組を行うとともに、本県の立地条件を最大限に活かした販売力向上の手法確立と実践により、主食用米の生産が「儲かる農業」となるよう支援する。</p> <p>(1) 食味向上技術開発事業 6,016千円                  (2) 食味向上技術導入支援事業 1,700千円                  (3) 食味向上対策機器整備支援事業 4,473千円                  (4) 販売力向上対策事業 10,717千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 食味向上技術開発事業 6,016千円                  「特A」レベルの米が県内のどこでもどのような条件でも栽培できるよう体系的な技術開発を行い、面的な広がり支援する。</p> <p>イ 食味向上技術導入支援事業 1,700千円                  食味向上技術の実証ほ設置し、現地における適応性を調査・検討する。</p> <p>ウ 食味向上対策機器整備支援事業 4,473千円                  高品質米の生産拡大のため広域乾燥調製施設に対して、粒ぞろいの向上に必要な関連機器の整備に対する補助を行う。</p> <p>エ 販売力向上対策事業 10,717千円                  県内の米市場の現状と県産米のポジショニングの分析を行うとともに、「彩のきずな」の販売戦略を構築し、戦略に基づいたプロモーション活動を行うことにより、県産米の消費拡大を推進する。</p> <p>(2) 事業効果                  県産米が「特A」評価を獲得・継続するとともに、本県の立地条件を最大限に活かした販売力向上の手法確立と実践により主食用米の生産が「儲かる農業」となる。</p> <p>(3) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況                  J A等農業団体との連携</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分</p> <p>(1) (県10/10)                  (2) (県10/10)                  (3) (県1/2) 農業団体1/2                  (4) (県10/10)</p>									
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>なし</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</p> <p>9,500千円×6.0人=57,000千円</p>									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金	諸収入						
決定額	22,906	22,904	22					22,906	
現計額									